

「市政ここが聞きたい」



議会動画配信

12月2日(木)

佐賀空港を活用した工業団地開発へ

野中 宣明 (公明党)



①佐賀空港や有明海沿岸道路などの交通アクセスを活かした物流拠点となる市南部地域の工業団地開発を提案していたが、その後の検討状況は②市長は、選挙公約に掲げた佐賀空港を活用したアジアの物流拠点構想を、この議論に当てはめてどう進めていくのか。

答弁

①工業団地を開発するため一定規模のまとまった土地が必要だが、優良農地が多く、農地制度に係る法規制の観点から開発する上でハードルが高くなると考えており、交通アクセスや周辺インフラの整備状況など、立地条件について様々な検証を行う必要があると考えている②手法として、農村産業法に基づく開発許可や国家戦略特区制度を活用した許可などがあり、今後、物流拠点構想を立ち上げて取り組みたい。

◆その他◆市長の市政運営について/バ
イオマス事業につい
て



中核市への移行に ついての考えは

江頭 弘美 (自由民主党)



市長は、市長選立候補者政策アンケート及び就任会見で、「新型コロナウイルスのような感染症の危機に迅速に対応するために、保健所の設置の検討を進める。」と表明された。保健所の設置は中核市の最重要課題である。市長の中核市への移行の真意を伺う。

答弁

保健所設置及び中核市移行により新たに得る権限を活用し地域の実情に即した独自の施策を展開しやすくなるというメリットがある一方、権限移譲に伴う職員定数の増加、財源の確保等の懸念がある。特に保健所設置に伴う専門職人材の確保と財政負担は課題。庁内検討会を立ち上げ、県と情報交換等を行いながら、中核市の大きな枠組みの中で保健所設置を含め、効果や課題について様々な観点から検討していく。

◆その他◆公共交
通対策について



中核市

駅周辺整備の進捗と 市長の考えを！

永渕 史孝 (自由民主党)



①ご当地駅メロデー導入の進捗は②三溝線道路愛称の検討の進捗は③道路愛称の方向性はいつ決まるのか④デザインベンチ導入の進捗は⑤歩きたくなる仕掛けとして、鎚流神社を活用してはどうか⑥市長の佐賀駅周辺再整備に関する考え方、ビジョンを問う。

答弁

①令和元年に佐賀駅に相談し、諸条件の整備が必要との回答。佐賀のイメージ発信の観点から、再度佐賀駅に相談したい②現在、三溝線を活かしたまちづくり検討会で、愛称の案を検討している③本年度末を目標に愛称を決定したい④ベンチを設置する計画であり、場所や管理、アートベンチも含めて検討したい⑤諸条件の整理が必要であり、まずは地元自治会に相談したい⑥佐賀駅周辺エリア全体が、人が行き交い、憩える空間として、にぎわいを生み出すエリアとなることを期待している。



鎚流(てきりゅう)神社

12月2日(木)

観光振興について

市長の考えは？

山田誠一郎(ネットワーク佐賀)



①多種多様な考え方があると思うが、観光振興の目的は地域の潤いであると考えている。本市の観光振興における観光資源と観光拠点について市長の考えは②東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」の西側の景観について観光面を考える上での市長の見解は。

答弁 ①本市の観光資源、観光拠点を最大限に活用し、地域全体の魅力を高めていかなければならない。多様化する観光ニーズに対応できる受け入れ態勢の整備などに取り組み、国内外からの誘客と消費拡大を図り、地域経済の活性化につなげていきたい②西側の当該用地は県が管理する国有地で、公共工事で生じた泥土の改良の場や漂着ごみの仮置場として使用されている。このような状況は観光的視点で好ましい状況とは言えないため今後検討していきたい。



東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」

◆その他◆通学路の安全確保について

12月3日(金)

水道料金の引き下げができないか！

重松 徹(自由民主党)



上下水道局は佐賀東部水道企業団から1日約2万3千トモ受水し、平成4年からの29年間で受水総額は約326億円に上り、水道料金に転嫁されている。受水を見直し、コロナ禍で落ち込んだ市民生活を助けるために水道料金を引き下げて市民へ還元できないか。

答弁 水道事業経営戦略では、災害に備えた施設の強靱化、老朽化対策や神野浄水場の大規模更新など、将来を見据えた投資計画を戦略として掲げ整備を進めており、その財源に水道料金を充てている。1年でも長く料金改定を先延ばしできるよう、コスト削減や経営の安定化にも努めており、現状では現行の水道料金体系を維持したいと考えている。しかし、水道料金体系の在り方については、改めて局内で十分協議をしていきたい。



◆その他◆交通政策について

市中心部の水害対策を急げ!!

福井 章司(自由民主党)



①令和元年の洪水被害が多かった理由は②令和元年の八田江排水機場のポンプ故障をどう認識しているか③城内地区の浸水軽減にどのような対策を行ったか④佐賀城濠の事前排水はどうするか⑤来年の大雨時期までにどのような対策を行うか。

答弁 ①短時間での集中的な降雨のため②浸水被害はポンプ故障よりも短時間での集中的な降雨の影響が大きく、ポンプ故障については県と情報共有が図られなかったのは問題と認識③連携した施設操作で佐賀江川の水位を低下させ、降った雨を佐賀城濠で一時的に貯留した④試験的に事前排水し、古江湖川の水位の回復具合や泥土の堆積状況など課題を明らかにする⑤流下能力向上のためのハード対策と浸水情報をリアルタイムに発信するシステムを構築する。



◆その他◆コンベンション計画について

街中にスケボーやBMXの練習場を

宮崎 健(自由民主党)



近年エクストリームスポーツが人気を博している。とりわけ東京五輪から正式な種目となったスケートボードやBMXは競技人口も大幅に増加している。しかし、本市では駅前まちかど広場での練習が禁止になり練習をする場所がない。必要と思うが見解は？

答弁 施設の整備は、他の競技との公平性や公益性の観点も重要であり、全体の施設の実施計画策定の中で優先順位も含め整備の必要性を判断したい。しかし、競技者・競技団体にとって練習場所の確保は喫緊の課題ということも市として感じている。公共施設だけでなく、例えば、まちなかで営業終了後の民間施設の駐車場等、活用できる場所がないか、市も情報収集し、競技団体と情報共有するなど、活用策を一緒に考えていくよう努めたい。



◆その他◆コンパクトシティによるまちづくりについて

※1 BMX…Bicycle Motocross (バイシクルモトクロス) の略称で、自転車を使った競技または競技専用自転車そのもののこと。

自衛隊オスプレイ配備、市長見解は

山下 明子 (市民共同)



佐賀空港への自衛隊オスプレイ配備の計画土地は、複数の地権者による共有であり、売却・造成などの変更を加えるには民法第251条により全員の同意を要する。「土地を売らない」という地権者がいる以上、計画断念を県や防衛省に働きかけるべきでは？

ユニバーサルデザイン教育の推進を

藤田 佳典 (ネットワーク佐賀)



①学校生活において、先生方の配慮を必要とする児童生徒の割合は②配慮を必要とする児童数増加に伴う対応は③専門的な知識を持つ生活指導員や特別支援学級支援員の不足に伴う対応として、保護者や地域の力を借りてはどうか④報告のあった課題への対応は。

公害防止協定見直し 歴史認識の上で

江口 善己 (ネットワーク佐賀)



佐賀空港は公害と自衛隊共用を懸念した漁業者の反対で二度断念した。しかし、自衛隊と共用しないという公害防止協定締結等で開港した。現在協定の見直し協議がなされているが、長い歴史を理解した上で判断して欲しい。空港開港までの歴史認識を市長に問う。

学習支援員の配置を柔軟に

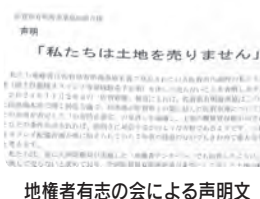
諸富八千代 (佐賀みのりの会)



昨年の全国小中学校の不登校児童生徒数が発表された。過去最多、低年齢化している状況での佐賀市の支援は。また別室登校をしている子どもの学習支援員が不足しており、1年に一度の希望調査では対応できていない。柔軟な対応を求める。

答弁 就任会見や定例会の記者会見でも述べたとおり、佐賀市は、佐賀県と有明海漁協で締結している公害防止協定の立会人という立場である。民法の条文は承知しているが、立会人の立場としては、当事者間でなされている公害防止協定に関する協議を見守りたいと考える。

◆その他◆保育・放課後児童クラブの拡充／安心して住み続けられる地域づくりのため



答弁 ①平成28年度は小学校7・26%、中学校4・47%、令和2年度は小学校11・41%、中学校7・74%と増加傾向にある②生活指導員、特別支援学級支援員を配置し、研修を定期的に通講している③地域の力を借りてお借りすることは必要であり、見守りや実習の支援、他の子どもとの橋渡しなどで協力いただけると考えている④研修を継続すると同時に、取り組みを評価し、修正、改善を行い、保護者や地域の方と共通理解をもつて子どもに関わっていききたい。

◆その他◆市民自らが行う防犯活動について



答弁 現在の佐賀空港があるのは、佐賀空港建設構想から開港までの関係者の苦悩と努力のおかげであると認識している。公害防止協定の締結に至る経緯等を踏まえながら、佐賀空港の利活用について取り組んでいきたい。また、佐賀市は公害防止協定の立会人の立場で、県と有明海漁協の協議の状況を見守りつつ今後も情報収集に努め、これからの協定見直しの動きを注視していく必要があると考えている。

◆その他◆高齢者の生きがいと健康づくりについて／空き家の課題と問題について



答弁 不登校児童生徒の支援として、①臨床心理士等の資格を持つスクールカウンセラー活用事業②佐賀市教育支援センター「くすの実」で学習と生活支援やサポート相談員が家庭を訪問して支援する不登校対策事業③学習支援員等が別室登校等の児童生徒の学習や生活支援を行う不登校児童生徒支援事業の3事業を実施している。学習支援員の配置については、要望確認した後も学校や学習支援員の状況を確認し、年度途中での配置見直しや週ごとの勤務日数の変更等柔軟な対応を検討する。



12月6日(月)

障がい者の運転免許 取得費助成

嘉村 弘和(自由民主党)



運転免許取得費助成制度は、自動車学校に入校する前に申請する必要があるが、入校後に制度を知り、助成を受けられない人がいる。①周知方法を改善するべきでは②入校後の申請を認めている自治体もある。障がい者に寄り添った柔軟な運用を行うべきでは。

答弁 ①これまでの周知方法に加え、市内の特別支援学校や自動車学校への周知、市報やホームページで周知するなど周知方法を拡充した。今後も対象者に情報が行き届くように周知に努めていきたい②県内市町および九州の県庁所在地を調査したところ、多くの自治体が本市と同様に入校前の申請としているが、入校後の申請を認めている自治体もあった。申請期間を含め、市民に寄り添った対応ができる制度にしていきたい。
◆その他◆交通局 建て替えについて／内水氾濫対策(排水対策)について



12月7日(火)

人事の在り方について市長に問う!

山口 弘展(緑橋自民)



近年、社会情勢が目まぐるしく変化していく中、住民ニーズはより多様化、複雑化、高度化しており、職員に求められるものは年々大きくなっている。こうした背景のもと、新規採用、人事異動、適正な人事評価の在り方について、市長の考えを問う。

答弁 職業意識の多様化などを背景に、公務員を志望する若者は減少傾向であり、採用試験の方法や年齢要件を見直して、受験しやすい環境を整備し人材確保に努めている。また、職員のモチベーションの維持向上のために、頑張っている人がきちんと評価される人事評価制度の導入や適材適所による人事配置も必要であり、これらを一体的に運用することで職員個人及び組織力の向上を目指したい。
◆その他◆有害鳥獣 その他小動物の駆除等について／川を愛する週間における取組について



子どもたちを 交通事故から守れ!!

御厨 洋行(自由民主党)



①堀江通り交差点で、下校中の児童が車にはねられる事故が発生。再発防止の対策が必要では②子どもへのまなざし運動の一環として校区境界付近の見守り活動の強化が必要では③新橋橋交差点の事故防止対策としてカラー舗装等の改修が必要では。

答弁 ①当該交差点は注意を要する箇所と認識し佐賀市通学路安全推進協議会に報告している。今後も道路管理者に安全対策の相談をしていくとともに関係機関に街頭指導等の取り組み継続を呼びかける②日常の行動と同時に見守りボランティアを行う「ながらボランティア」が全市的に定着すれば登下校時の安全確保につながるため、啓発に取り組みたい③車両通行等の状況を確認し、有効な対策を警察と協議しながら検討する。
◆その他◆スポーツ振興施策について／佐賀県伝承芸能祭について



オスプレイ等 配備計画は断念を!!

松永 憲明(ネットワーク佐賀)



①日米安全保障協議委員会で日米共同訓練の合意があり、自衛隊と共用すれば米軍オスプレイ部隊が必ず来ると想定されるが、その認識は②公害防止協定覚書付属資料から、観光を通じた平和利用を求めるときには③協定書の立会人という立場に対する認識は。

答弁 ①米海兵隊の利用は、自衛隊機の配備、移駐とは切り離して要請を取り下げられたと承知している②公害防止協定の締結に至る経緯等も踏まえた上で、佐賀空港はアジアの玄関口として重要と考えており、インバウンド観光の充実に取り組むたい③歴代の町長、市長から立会人を引き継いでいると認識しており、公害防止協定の締結に至る経緯等を踏まえ、協定書見直しについての佐賀県と有明海漁協との協議を見守る立場にあると認識している。
◆その他◆学校教育 職員の働き方改革について



※防衛省資料より